

バッタの仲間

オンブバッタ

バッタ科



大きさ：20～42mm

生息環境：

- ・背丈の低い草地に生息する
- ・イネ科やキク科、シソ科など様々な植物の葉を食べるため、都市部でも見つかることが多い

そっくりなアカハネオンブバッタという外来種が、2012年ころから近畿地方で確認されています。お庭で見かけたら捕まえて翅を広げてください。アカハネオンブバッタの翅は赤く、本種は無色です。

ショウリョウバッタ

バッタ科



大きさ：40～82mm

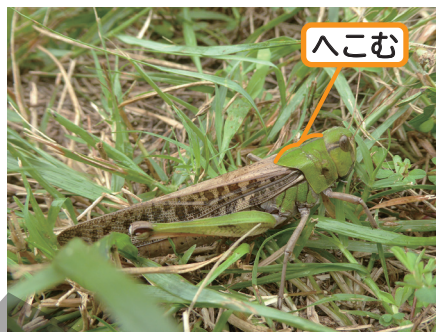
生息環境：

- ・背丈の低い草地に生息する
- ・イネ科の葉を食べるため、エノコログサなどのある場所に多い

オスは「チキチキ…」と音を出して飛ぶので、チキチキバッタとも呼ばれています。もともとは北海道には生息していませんでしたが、人や荷物にまぎれて移動し、北海道でもみられるようになりました。

トノサマバッタ

バッタ科



大きさ：35～68mm

生息環境：

- ・河川敷などのまとまった草地に生息する
- ・イネ科やカヤツリグサ科の葉や実を食べるため、エノコログサなどがある場所に出現する

集団で長距離を移動することが知られており、条件の揃った草地では前年までは確認されていなくても、急に多数見つかることがあります。もしお庭で見かけたら、移動の途中かもしれません。

クルマバッタモドキ

バッタ科



大きさ：28～65mm

生息環境：

- ・荒れ地のような背丈の低い草地や河川敷、海岸の砂地などに生息する
- ・イネ科を中心に多様な植物を食べるため、広く分布している

お庭でトノサマバッタかな?と思ったら本種であることが多いです。本種は、翅を広げて飛ぶときに由来となった黒い半円模様が見えます。褐色個体では背中にX模様があることでも見分けられます。